

清閑亭の利活用に向けたサウンディング（対話型市場調査）の結果

清閑亭の利活用に向けて、サウンディングを実施しましたので、その結果を公表します。
なお、参加者の知的財産保護の観点から、公表の承諾を得られた内容のみを公表します。

1 対象施設 清閑亭

2 実施日 令和3年（2021年）2月15日（金）～3月3日（水）

3 参加者 10者

4 結果

ア 本調査への参加理由

- ・官民連携の必要性を感じたため。
- ・小田原の魅力を発信できるよう店舗としたい。
- ・新聞記事を見た。
- ・歴史的建造物の保全と有効活用に資するため。

イ 利活用のイメージ

※公表なし

ウ 事業期間について

- ・短くても5～10年間の契約としてほしい。

エ 想定する改修工事の内容について

- ・一定の設備改修（キッチン、トイレ、空調・換気等）
- ・現状を生かすことが大事と考えているので大きな改修は想定していない。
- ・建物については、現状維持を最低限とすべきではないか。
- ・改修工事を行うのであれば、清閑亭の良さを生かしたものとしたい。
- ・清閑亭の雰囲気合った調度品を用意する必要がある。

オ 想定される課題について

- ・改装に係る費用は、どこまでが事業者負担なのか。
- ・より多くの人に来館してもらうために駐車場等の整備が必要
- ・清閑亭が目的地となるような工夫が必要である。
- ・事業者と所有者（市）のリスク分担を明確にしてほしい。

カ 提案募集時に市から提示してほしい資料やその他要望について

- ・現在の施設における維持管理費（建物及び庭園の維持、光熱水費等）。
- ・利活用に当たって、制限や注意事項があれば示してほしい。
- ・事業者と市との連携体制を築いていきたい。
- ・引き続き、地域から喜んでもらえるような利活用となればよい。
- ・改修工事等を行う場合は、事前に改修概要を事業者が提出することで、トラブルを防げるかと思う。

キ 希望する資料について

- ・初年度から定額ではなく、段階的に金額を上げる等の工夫があると良い。
- ・市がどのような方向性を持っているかを明示した上で検討したい。